

令和5年度 インターンシップ「地域共生社会の実現に向けた取組」

1. 実施時期 2023年（令和5年）8月9日（水）・8月18日（金）8月24日（木）
2. 参加学生 9名
3. 内容

3グループにわかれ、地域で活動する団体等の取組を見学した。

今後必要とされる施策について、学生自らが企画・立案し、最終日に企画発表会を行った。

●Aグループ（テーマ：社会的孤立の防止）

地域には、制度やサービスに当てはまらない「はざま」の支援を必要としている人がいます。「孤独・孤立対策推進法」の2024年4月施行を控え、地域でどのような課題があり、行政としてどのような役割が求められているか、企画・立案を行った。

<見学先・協力団体>

- ・つぼみの会（ひきこもる家族をかかえる親・きょうだいの会）
- ・社会福祉法人光友会（多様な社会参加、農福連携の実践）
- ・藤沢市社会福祉協議会（コミュニティソーシャルワーカー（CSW）の業務）

●Bグループ（テーマ：地域活動・コミュニティ支援）

少子高齢化の影響等により、自治会町内会など地域の担い手が減少し、ご近所同士のつながりによる「互助」力の低下が課題となっています。今後、行政としてどのように地域コミュニティを支えていくか、企画・立案を行った。

<見学先・協力団体>

- ・地域の縁側「ヨロシク♪まるだい」（地域の身近な居場所、相談機能）
- ・村岡公民館、村岡地区ボランティアセンター（村岡地区の地域活動）
- ・善行団地みまもり会議（団地における見守り・居場所づくりの実践事例）

●Cグループ（テーマ：多職種連携・マルチパートナーシップ）

複合化・複雑化する地域生活課題の解決のためには、医療・福祉・介護などの専門職や、大学・民間事業者など、あらゆる主体の協力が重要となる。各主体の強みを活かし、地域づくりをどう進めるか、企画・立案を行った。

<見学先・協力団体>

- ・（株）Helte（民間企業との連携実践事例）
- ・湘南振興財団・SFC-IV（大学との連携実践事例）
- ・鵜沼地区小地域ケア会議・協議体（鵜沼地区における見守りネットワーク）

以 上